

# 【消 防】

# 予 防

火災予防を推進するため、消防団及び防火関係団体と連携し、住民に対する火災予防思想の普及を図り、火災発生の防止及び火災による死傷者を減少するよう努めました。

また、防火対象物及び危険物施設への立入検査を実施し、消防法令違反を発見した際は改善指導、警告等を行い違反是正の推進に努めました。

さらに、令和3年12月に大阪市北区で発生したビルの火災など、社会的影響のある火災を鑑み、管内の同様の対象物 162施設に特別査察を行い、関係者の火災予防に対する意識を向上させ、類似の火災による被害を防止するよう努めました。

## 1 防火広報等

秋季と春季の全国火災予防運動期間中は、管内を走行する路線バスの行先表示機による防火広報、宅配業者の協力による活動、消防訓練、街頭広報等を実施し、住民一人一人が普段の生活の中で、防火に対する意識が薄れぬよう、継続して火災予防の対策を構築できるよう努めました。

### (1) 火災予防運動等実施期間

- ア 危険物安全週間 令和3年6月6日から令和3年6月12日まで
- イ 秋季全国火災予防運動 令和3年11月9日から令和3年11月15日まで
- ウ 春季全国火災予防運動 令和4年3月1日から令和4年3月7日まで

### (2) 火災予防運動等実施期間中の実施内容

- ア 管内を走行する路線バスの行先表示機による防火広報
- イ 女性防火クラブ、幼年消防クラブ、少年消防クラブ等による防火広報
- ウ ラジオ局、ケーブルテレビ局等を活用した防火広報
- エ 本組合ホームページ、構成市町広報紙等による防火広報
- オ 危険物施設へののぼり旗の掲揚及び危険物事故防止の広報
- カ 宅配業者の協力による広報活動
- キ 商業施設における館内放送を使用した広報
- ク 防火ポスター展（幼年消防クラブ）
- ケ 消防フェア（ららぽーと沼津）
- コ タクシー業者の協力による火災予防広報

## 2 消防設備

建物の新築、増・改築、大規模な模様替え等の建築確認申請に伴う消防同意及び消防法令に基づく消防用設備等の設置指導を実施しました。

(単位：件)

区 分	令和2年度	令和3年度	増減
消防同意（建築物の調査及び安全指導）	361	442	81
消防法令に基づく消防用設備等の完成検査	734	712	△22

### 3 査察

防火対象物及び危険物施設の立入検査を実施しました。また、利用者及び防火対象物関係者の防火安全に対する認識を高め、重大な消防法令違反のある防火対象物についてホームページにて公表する「違反對象物公表制度」により、違反對象物を利用者に周知するとともに、これらの防火対象物に対し早期に是正するよう重点的に指導し、防火安全対策の推進を図りました。

#### (1) 立入検査（防火対象物）

(単位：件)

市 町	令和2年度	令和3年度	増減
沼 津 市	660	624	△36
伊 東 市	243	336	93
伊 豆 市	95	125	30
伊豆の国市	180	134	△46
東伊豆町	54	46	△8
函 南 町	65	83	18
清 水 町	85	79	△6
合 計	1,382	1,427	45

#### (2) 立入検査（危険物施設）

(単位：件)

市 町	令和2年度	令和3年度	増減
沼 津 市	13	10	△3
伊 東 市	43	5	△38
伊 豆 市	22	11	△11
伊豆の国市	10	14	4
東伊豆町	6	1	△5
函 南 町	2	7	5
清 水 町	0	5	5
合 計	96	53	△43

(3) 違反対象物公表制度

令和3年度中に公表した防火対象物数 0件

令和3年度中には是正された防火対象物数 0件

4 危険物

消防法令に基づき製造所、貯蔵所及び取扱所の危険物施設の許可、完成検査等を実施しました。

(1) 危険物施設

(単位：件)

区 分	令和2年度	令和3年度	増減
設置・変更許可	119	107	△12
設置・変更完成検査	107	103	△4
仮使用承認	80	77	△3
水圧（水張）検査	4	1	△3
仮貯蔵・仮取扱承認	14	23	9
合 計	324	311	△13

(2) 煙火消費

(単位：件)

区 分	令和2年度	令和3年度	増減
許可件数	44	58	14
届出件数	21	31	10

※打ち上げ花火などの煙火を消費する場合には、その「種類」及び「数量」により県知事から権限移譲を受けた市町村長等の許可が必要となります。許可未満の消費の場合には、消防長に届出が必要となります。

5 火災

令和3年中における火災件数は159件で、前年と比較すると35件増加し、火災の種別ごとに見ると、「建物火災」が72件で全体の45.3%と最も多く、次いで枯草などが燃える「その他の火災」が66件発生しました。

火災による死者は8人で、前年と比較すると4人減少しました。主な出火原因としては、「たき火・火入れ・取灰」が28件（17.6%）、「電灯・電話等の配線」が17件（10.7%）、「放火・放火の疑い」が15件（9.4%）となっております。

## (1) 火災件数

(単位：件)

市 町	令和2年中	令和3年中	増減
沼 津 市	59	75	16
伊 東 市	26	28	2
伊 豆 市	16	18	2
伊豆の国市	7	14	7
東伊豆町	5	9	4
函 南 町	7	11	4
清 水 町	4	4	0
合 計	124	159	35

## (2) 火災種別（ ）内、令和2年中との増減

(単位：件)

市 町	建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	その他の火災
沼 津 市	36(3)	0(△2)	7(1)	0(0)	32(14)
伊 東 市	19(5)	0(0)	0(△5)	0(0)	9(2)
伊 豆 市	5(△1)	4(3)	2(0)	0(0)	7(0)
伊豆の国市	5(1)	0(0)	1(1)	0(0)	8(5)
東伊豆町	3(0)	0(0)	1(0)	0(0)	5(4)
函 南 町	2(△1)	1(1)	3(2)	0(0)	5(2)
清 水 町	2(0)	0(0)	2(2)	0(0)	0(△2)
合 計	72(7)	5(2)	16(1)	0(0)	66(25)

## (3) 焼損床面積

(単位：㎡)

市 町	令和2年中	令和3年中	増減
沼 津 市	850	1,686	836
伊 東 市	1,297	562	△735
伊 豆 市	652	509	△143
伊豆の国市	66	1,533	1,467
東伊豆町	108	1	△107
函 南 町	7	80	73
清 水 町	153	2	△151
合 計	3,133	4,373	1,240

## (4) 損害額

(単位：千円)

市 町	令和2年中	令和3年中	増減
沼 津 市	65,808	106,333	40,525
伊 東 市	71,321	33,621	△37,700
伊 豆 市	36,507	17,828	△18,679
伊豆の国市	4,669	108,565	103,896
東伊豆町	2,821	520	△2,301
函 南 町	703	2,007	1,304
清 水 町	28,644	744	△27,900
合 計	210,473	269,618	59,145

## (5) 死傷者（死亡）

(単位：人)

市 町	令和2年中	令和3年中	増減
沼 津 市	16 (5)	8 (2)	△8 (△3)
伊 東 市	8 (3)	8 (4)	0 (1)
伊 豆 市	4 (2)	2 (1)	△2 (△1)
伊豆の国市	2 (1)	2 (1)	0 (0)
東伊豆町	2 (1)	0 (0)	△2 (△1)
函 南 町	0 (0)	1 (0)	1 (0)
清 水 町	1 (0)	0 (0)	△1 (0)
合 計	33 (12)	21 (8)	△12 (△4)

## (6) 出火原因別件数

(単位：件)

区分	たき火・火 入れ・取灰	電灯・電話 等の配線	放火・放火 の疑い	たばこ	こんろ・ かまど	その他	不明	合計
令和2年中	16	4	17	22	10	51	4	124
令和3年中	28	17	15	14	14	62	9	159
増 減	12	13	△2	△8	4	11	5	35

# 警 防

## 1 消防車等の配備

沼津南消防署戸田出張所及び田方北消防署に消防ポンプ自動車を、沼津南消防署に搬送車を更新配備しました。

また、東京2020オリンピック・パラリンピック 競技大会警備に伴い配備していた高規格救急車及び故障により運用不可となった防災バイク等を廃車したため、車両保有台数は前年度から減少しています。

令和4年3月31日現在

方面	署 所	水槽付消防ポンプ自動車	消防ポンプ自動車	化学消防ポンプ自動車	消防ポンプ付水槽車	はしご付消防自動車	屈折はしご付消防自動車	高規格救急自動車	救助工作車	指揮車	多機能型災害対応車	水難救助車	重機搬送車	人員搬送車	火災調査車	搬送車	救急普及啓発広報車	その他の車両	合計
本部	企画課																	2	2
	総務課																	1	1
	予防課														1			3	4
	警防課																	3	3
	救急課															1		1	2
	通信指令課																	1	1
第1方面	沼津北消防署	1		1			1	3	1	1				1		2		1	12
	原分署	1	2		1			1								2		1	8
	沼津南消防署	1	2	1	1	1		2	1	1						2		3	15
	静浦分署		1					1			1					1			4
	内浦出張所		1															1	2
	大平出張所		1															1	2
	西浦出張所		1					1										1	3
	戸田出張所		1					1										1	3
	清水町消防署	1	1					2	1							1		1	7
第2方面	田方中消防署		1	1	1	1		2		1	1					1		4	13
	田方北消防署	1	1					1	1				1	1		1		1	8
	田方南消防署	3						2								1	1	2	9
	西出張所		1					1										1	3
第3方面	伊東消防署	2	1		1		1	2	1	1				1		3		3	16
	八幡野分署	1						1				1							3
	宇佐美出張所		1					1											2
	吉田出張所	1						1											2
	東伊豆消防署	1	1				1	2										2	7
	合 計	13	16	3	4	2	3	24	5	4	2	1	1	3	1	15	1	34	132

## 2 出動件数

救助出動件数は、次のとおりです。

救助出動件数

(単位：件)

	火災	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械事故	建物事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他	合計
2 年 中	13	64	26	1	4	78	0	0	81	267
3 年 中	2	56	19	27	2	101	2	0	95	304
増 減	△11	△8	△7	26	△2	23	2	0	14	37

# 救 急

## 1 出動件数

救急出動件数は、次のとおりです。

(単位：件)

	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
令和2年中	155	1	40	1,278	156	82	3,530	45	191	13,250	3,286	22,014
令和3年中	148	12	42	1,273	183	65	3,702	50	199	13,497	3,749	22,920
増減	△7	11	2	△5	27	△17	172	5	8	247	463	906

## 2 現場到着時間及び病院収容所要時間

救急自動車による現場到着時間及び病院収容所要時間は、次のとおりです。

(単位：分)

		入電～現場到着	現着到着～搬送開始	搬送開始～病院到着	合計
沼津市	令和2年中	9.2	22.4	11.4	43.0
	令和3年中	9.6	23.3	11.7	44.6
伊東市	令和2年中	9.9	17.5	15.5	42.9
	令和3年中	10.0	17.4	14.9	42.3
伊豆市	令和2年中	12.7	22.3	18.1	53.1
	令和3年中	13.3	23.2	18.5	55.0
伊豆の国市	令和2年中	8.7	22.0	11.8	42.5
	令和3年中	9.1	21.3	11.6	42.0
函南町	令和2年中	11.1	22.5	14.2	47.8
	令和3年中	11.5	20.5	14.5	46.5
東伊豆町	令和2年中	12.5	23.8	26.8	63.1
	令和3年中	12.9	23.3	27.7	63.9
清水町	令和2年中	7.6	21.5	9.8	38.9
	令和3年中	8.0	21.8	10.7	40.5
※ 全体	令和2年中	9.7	21.3	13.6	44.6
	令和3年中	10.1	21.5	13.6	45.2

※昨年度までは各構成市町の平均時間を合算したものを平均としたが、今年度からは全体の平均とした。

### 3 救急教育

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部を除き病院実習は実施せず、救急救命士の研修として、各種研修会や訓練を実施しました。

また、住民に対する救命講習会については、令和3年12月から令和4年1月中旬まで実施し、14回の開催で235人が受講しました。

- ・ 救急救命士研修（対象者：88人）一人平均 78時間

### 4 主な訓練等

#### (1) 救急隊長研修

##### ア 目的

救急現場の最前線で業務を指揮する救急隊長に、適正な業務遂行のため、現場対応能力や危機管理能力の向上を図ることを目的とする。

イ 実施日 令和3年6月22日（火）から令和3年6月24（木）までの3日間

ウ 場所 田方中消防署

エ 参加者 67人（救急隊長54人、通信指令課員3人、指導救命士3人、救急課7人）

##### オ 内容

- (7) 救急隊長の責務
- (1) 公文書の取扱い
- (9) 現場活動上の危機管理対応（グループワーク）

#### (2) 救急総合想定訓練

##### ア 目的

救急活動に必要な知識及び技能の向上を図り、住民に対し質の高い救急サービスを提供することを目的とする。

イ 実施日 令和3年12月21日（火）から令和3年12月23日（木）までの3日間

ウ 場所 田方中消防署

エ 訓練参加者 140人 訓練運営者 29人 延べ 169人

##### オ 内容

- (7) 内因性症例
  - (6) プロトコルを遵守した特定行為の実施
  - (1) 医師への適切な情報提供、指示要請及び救命士報告
  - (5) 質の高いCPRの実施 ※CPRフィードバック機能を活用した客観的評価
- (1) 外傷
  - (6) J P T E Cに準拠した外傷対応
  - (1) 医師への適切な情報提供、指示要請及び救命士報告
  - (5) 適切な車外救出の実施

# 通 信

## 119番通報受信概況

令和3年中の119番受信件数は30,603件（前年比+664件）で、1日平均83.8件（昨年比+2.0件）を受信している。

火災・救急等の災害通報は、25,202件で全体の82.4%を占め、緊急性のない問合せ等については5,401件で17.6%である。

携帯電話からの通報は、12,796件で41.8%を占め、I P 電話からの通報は8,881件で29.0%、一般電話等からの通報は7,460件で24.4%である。

なお、前年と比較すると、携帯電話からの通報は509件増加、I P 電話からの通報は297件増加、一般電話等からの通報は144件減少した。

[119番通報受信状況]

(単位：件)

災害種別		合計	災 害 通 報					緊急性のないもの			
			小計	火災	救急	救助	他の災害	小計	問合せ	間違い等	訓練他
合 計	R 3 年	30,603	25,202	488	22,870	335	1,509	5,401	1,753	1,468	2,180
	R 2 年	29,939	23,353	264	21,412	273	1,404	6,586	2,425	1,638	2,523
増 減		664	1,849	224	1,458	62	105	△ 1,185	△ 672	△ 170	△ 343
携帯電話	R 3 年	12,796	10,674	252	9,734	195	493	2,122	1,029	948	145
	R 2 年	12,287	9,394	142	8,658	161	433	2,893	1,418	1,025	450
増 減		509	1,280	110	1,076	34	60	△ 771	△ 389	△ 77	△ 305
I P 電話	R 3 年	8,881	7,976	59	7,792	31	94	905	327	133	445
	R 2 年	8,584	7,512	48	7,304	28	132	1,072	465	161	446
増 減		297	464	11	488	3	△ 38	△ 167	△ 138	△ 28	△ 1
一般電話	R 3 年	7,460	5,345	95	4,851	51	348	2,115	311	340	1,464
	R 2 年	7,604	5,285	39	5,046	32	168	2,319	434	397	1,488
増 減		△ 144	60	56	△ 195	19	180	△ 204	△ 123	△ 57	△ 24
上記以外	R 3 年	1,466	1,207	82	493	58	574	259	86	47	126
	R 2 年	1,464	1,162	35	404	52	671	302	108	55	139
増 減		2	45	47	89	6	△ 97	△ 43	△ 22	△ 8	△ 13

[市町別受信状況]

(単位：件)

市町別	災害通報			緊急性のないもの		
	R 3 年	R 2 年	増 減	R 3 年	R 2 年	増 減
合 計	25,202	23,353	1,849	5,401	6,586	△ 1,185
沼津市	10,774	9,931	843	2,474	2,955	△ 481
清水町	1,692	1,484	208	211	286	△ 75
函南町	1,768	1,733	35	271	336	△ 65
伊豆の国市	3,001	2,510	491	444	525	△ 81
伊豆市	1,940	1,755	185	429	491	△ 62
伊東市	5,042	4,854	188	1,200	1,316	△ 116
東伊豆町	953	997	△ 44	300	323	△ 23
管外	32	89	△ 57	72	354	△ 282